

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和3年4月1日(2021.4.1)

【公開番号】特開2019-180148(P2019-180148A)

【公開日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-042

【出願番号】特願2018-68097(P2018-68097)

【国際特許分類】

H 02 K 33/16 (2006.01)

B 06 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 02 K 33/16 A

B 06 B 1/04 S

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記接続体は、粘弾性部材であって、前記第1プレートと前記可動体とが前記第1方向で対向する個所、および前記第2プレートと前記可動体とが前記第1方向で対向する個所の各々に設けられていることを特徴とする請求項2から6までの何れか一項に記載のアクチュエータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明において、前記接続体は、粘弾性部材であって、前記第1プレートと前記可動体とが前記第1方向で対向する個所、および前記第2プレートと前記可動体とが前記第1方向で対向する個所の各々に設けられている態様を採用することができる。かかる態様によれば、接続体は、厚さ方向(第1方向)と交差する方向(せん断方向)に変形するため、非線形の成分(バネ係数)よりも線形の成分(バネ係数)が大きい変形特性を発揮する。このため、入力信号に対する振動加速度の再現性を向上させることができるので、微妙なニュアンスをもつ振動を実現することができる。